

お国自慢



株式会社 タクマ

町田市

都心から電車で30分！街の便利さと多くの自然が共存するまち 町田市 町田市バイオエネルギーセンター「バイエネ君（愛称）」

1. はじめに

町田市は東京都の南端に位置し、半島のように神奈川県に突き出た独特の地形を持っています。市域は多摩丘陵の西部から中央部に広がり、東京都で9番目に誕生した市です。

古くから、横浜に通じる街道は「絹の道」と呼ばれ、交通の要衝として発展してきました。この街道沿いには多くの人々が集まり、町田市は商圏人口200万人を抱える一大商業都市へと成長を遂げました。

町田駅周辺は、都心から電車で30分程度とアクセスが良く、大型商業施設が立ち並ぶ賑やかなエリアです。一方で、昔ながらの商店街も健在で、地域の人々に愛されています。駅から少し足を伸ばせば、里山の風景や緑豊かな公園、地場野菜を生産する農地など、自然を感じられる場所も多くあります。利便性と自然の豊かさが調和した魅力的な街です。

2. 施設の紹介

町田市バイオエネルギーセンター（以下「バイエネ君」と記す）は新たな熱回収施設（焼却施設）、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設、新管理棟及びストックヤード棟、洗車場等の整備及び20年間の運營業務を町田市から発注され、令和4年1月に施設が稼働し、令和6年9月に整備工事が完了しました。



町田市バイオエネルギーセンター「バイエネ君（愛称）」

3. 施設の概要

施設名称：町田市バイオエネルギーセンター「バイエネ君（愛称）」

所在地：東京都町田市下小山田町3160番地

敷地面積：約77,000㎡

延べ面積：工場棟 約17,000㎡

管理棟 約6,100㎡

施設規模：熱回収施設（焼却施設）ストーカ式焼却炉 258t/日（129t/日×2炉）

バイオガス化施設 乾式高温メタン発酵 50t/日（25t/24h×2系列）

不燃・粗大ごみ処理施設 機械選別・手選別 47t/5h

発電設備：蒸気タービン発電機 6,220kW、バイオガス発電機 250kW×4基（内1基予備）

4. 施設の特徴

① 市民の生活環境に配慮した施設

最新のプラント技術により、厳しい環境基準を遵守しています。また、一般廃棄物を処理するバイオガス化施設は東日本初導入であり、ごみを発酵させて得られるバイオガスやごみを燃やして発生する蒸気を利用した高効率発電を行い、バイエネ君の所内電力を賄うとともに、余剰電力については電力会社への売却、地元の下水処理施設への電力供給など、さらにバイエネ君で発生した熱の一部を近接する市民プールの熱源として利用するなど、温室効果ガスの削減に貢献しています。

② 市民が安心して生活できる災害に強い施設

耐震性に優れた施設とし、災害発生後の停電下においても、施設単独で運転可能な非常用発電設備を有しており、安全確認後に非常用発電

機で施設を稼働させ、早期にごみ処理及び発電を行います。また、避難所機能も有しており、まさかの時の拠点施設として運営されています。

③ 市民がともに学び・遊び・育むことのできる施設

市民や見学者に多様な環境学習やワークショップ等の機会を提供し、コミュニティの輪を広げています。また、管理棟や屋外には、市民が集い・憩うことのできる空間を用意し、市民の活発な交流を広げています。

④ 市民が安全に生活できる安定的な運営

市民が安心して暮らせるように、施設を容易にモニタリング（監視）することができ、広く情報公開しています。また、市民が親しみを感じることができるような、施設運営を心掛けています。



町田市のご紹介



◇南町田グランベリーパーク

「まちのぜんぶがパークになる」をコンセプトに掲げ、既存の街の構造を見直し、駅、商業施設、都市公園を一体的に再整備したまちづくりプロジェクトが、令和元年にスタートしました。プロジェクトの中心となる南町田グランベリーパーク駅直結のエリアに入ると、スヌーピーが出迎えてくれる空間が広がります。このエリアには、ファッションやアウトドア、食事を楽しめる店舗、映画館、スヌーピーミュージアム、さらには子どもが遊べる公園など、多彩な施設が揃っており、大人も子どもも楽しめる充実した空間となっています。敷地内の至るところでスヌーピーのキャラクターが訪れる人々を癒やしてくれます。

また、パーク内のカフェで販売されている南町田限定のマスタードチーズクロワッサンは、温めるとさらに美味しさが引き立つと評判で

す。鉄道駅、都市公園、商業施設が隣接するという南町田ならではの街の特性を最大限に活かし、多世代がいきいきと暮らせる「新しい暮らしの拠点づくり」が進められています。



南町田グランベリーパーク

◇町田薬師池公園 四季彩の杜

「町田薬師池公園 四季彩の杜」は、町田駅からバスで15分ほどのところに西園ウエルカムゲートがあり、そこでは地元農家の方が毎朝新鮮な取れたての地場野菜やたまごを持って来てくれて販売しています。たまごをたっぷり使った「やくしプリン」は濃厚な味わいです。そこから10分ほど歩くと薬師池公園があります。「町田薬師池公園 四季彩の杜」は、薬師池はもとより、リス園、ダリア園、ほたん園、七国山など、豊かな自然環境、歴史・文化などが存在する町田を代表するエリアとなっています。

この「四季彩の杜」に流れる時間・期間・季節・風景や独特の雰囲気・空気感を表して「やくしの時間」と表現しています。この土地に流れる「やくしの時間」を一度味わってみてはいかがでしょうか。



薬師池

(画像提供：町田市)

◇FC 町田ゼルビア

FC 町田ゼルビアは町田市のホームタウンチームの一つで、現在日本プロサッカーリーグ J1 リーグに所属しています。チーム名の由来は町田市の木である、けやきの英語名の「ZELKOVA」と、町田市の花である「SALVIA」を合わせたもので、チームカラーは青色です。町田 GION スタジアムでホームゲームを行っています。

1989年のチーム創立後、社会人リーグを中心に活躍し、2011年にJリーグに入会、2019年にJ1ライセンスを取得し、2023シーズンにJ2優勝し、見事目標としていたJ1昇格を果たしました。そして2024年明治安田J1リーグにおいて、3位が決定しました。最終節で惜しくも優勝は逃しましたが、今シーズンの闘いぶりは多くの方に勇気や感動をそして街に活気を与えました。また、今シーズンの結果により、来シーズンのACL (AFCチャンピオンズリーグ) の出場が決定しました。



FC 町田ゼルビア

(画像提供：町田市)